

# あくね 市議会だより

## 第1回臨時会・第1回定例会

第1回臨時会・第1回定例会総括……………	2
一般質問……………	11



### 第6回 花と歴史の絶景ウォーク

脇本地区の自然や歴史、文化を歩いて楽しむ「花と歴史の絶景ウォーク」が4月16日に開催され、実行委員によるおもてなしや郷土芸能「山田楽」の披露もあり、たくさんの参加者でにぎわいました。

**NO.193**

平成29年5月16日  
編集 / 広報広聴委員会  
発行 / 阿久根市議会  
TEL 0996-72-0815  
FAX 0996-72-2029

# 第1回定例会

## ○平成29年度

一般会計予算 総額**110億1千万円**

特別会計予算 総額**約77億8千8百万円**

## ○市民交流センター建設工事費等を可決

### 第1回臨時議会

平成29年2月13日、平成29年第1回臨時議会を開きました。

臨時議会では、市民交流センター建設工事請負契約、同センター舞台設備工事請負契約及び寺山住宅6号棟建築工事請負変更契約の議案が提案されました。

市民交流センターの建設については、平成30年までにおいて、総額17億3300万円の工事費で建設することを既に可決しており、今臨時議会では、市民交流センター建設工事の入札結果に基づき、建設工事を阿久根建設(株)、(株)タイセイ工務店、(株)前田組の3社の共同企業体に工事費14億3640万円で、舞台設備工事は、福岡市の業者に工事費2億1492万円でそれぞれ契約締結の提案があり、寺山住宅6号棟の工事請負変更契約を含めて3件の契約議案を可決しました。



建設工事が始まった市民交流センター

### 第1回定例会

平成29年第1回阿久根市議会定例会を平成29年2月27日から3月27日の日程で開きました。

本定例会では、市長の施政方針のほか、平成28年度補正予算7件、平成29年度当初予算7件、条例関係については、国民体育大会運営等基金条例、課設置条例の一部を改正する条例、職員や市長等の給与条例の一部を改正する条例、交通災害共済条例の一部を改正する条例の制定を含む16件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

人事案件については、欠員中の公平委員会委員の選任と任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任に同意し、また任期満了に伴う副市長の選任については、総務省出身の春原善幸氏の選任に同意しました。

### 【特別会計当初予算額】

(国民健康保険特別会計) 41億2947万円

(簡易水道特別会計) 3億3435万円

(交通災害共済特別会計) 462万円

(介護保険特別会計) 29億9909万円

(後期高齢者医療特別会計) 3億2105万円

水道事業会計予算(収益的収入) 3億5525万円



現在配備されている高規格救急自動車  
平成29年度予算で最新型を配備予定

### 平成29年度当初予算に対する主な質疑内容

2名の議員から一般会計について総括質疑がありましたので、主な内容を紹介します。

**問** ふるさと納税応援寄付金について、前年度の2倍の予算を計上しているが、新年度の特産品発送業務はどのような人事体制で取り組むのか。

**答** これまで企画調整課と商工観光課で取り組んできたが、新年度から商工観光課で一括して対応し、地方創生特命参事を中心にした取り組みを行う。

**問** 市の特定不妊治療費助成の28年度実績額は、県補助と併せ初回45万円の助成があることなど、わかりやすくホームページへの掲載や入籍届け時に告知しているか。

**答** 28年度は7組70万円余りが県補助に加え、活用された。29年度予算は前年度同様150万円。入籍時の告知は未実施である。

なお、当初予算の総括質疑は、2名の議員が行いましたが、3月13日から17日までの4日間の日程で、議長を除く15名の議員による予算委員会において審査しました。

また、一般質問は、7名の議員が地域の活性化の方策等について、市長に質問を行いました。

陳情等については、「鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の採択を求める陳情」を不採択とし、同趣旨の陳情書を不採択、意見書を否決しました。また、「原発から30キロ圏内の地域住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情書」を趣旨採択とし、同趣旨の意見書を可決しました。

## 【人事案件】

### ◎副市長（同意）

春原善幸氏（総務省出身）

### ◎公平委員会委員（同意）

濱崎ゆかり氏（高松区）

### ◎固定資産評価審査委員会委員（同意）

竹原幸佑氏（八郷区）

## 委員会での主な質疑・意見

### ○予算委員会

#### 【補正予算】

議案第4号 平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）について

**問** 移住定住促進補助事業について、移住されて来た方の前居住地、年代や家族構成、移住動機などを把握しているか。

**答** 把握しているのは従前の居住地、加入の区、本籍地、世帯人員である。（所管課 企画調整課）

**問** イノシカ肉流通対策事業の増額について、頭数が320頭ほど増えているが、どのような計算か。

**答** 補正計上した12月末現在の実績を基に3月いっぱいまでの推計で出している。（所管課 水産林務課）

**問** 旧国民宿舎解体の設計業務は完了したが、解体はいつ実施するのか。

**答** 事業者が確定して建設等が始まるときに合わせて行えば、経費も削減できるのではないかと考えており、そのような形で実施したい。（所管課 財政課）

### その他の審議事項

○議案第5号 平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

○議案第6号 平成28年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第1号）

○議案第7号 平成28年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）

○議案第8号 平成28年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第2号）

○議案第9号 平成28年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○議案第10号 平成28年度阿久根市水道事業会計補正予算（第1号）

### 【当初予算】

議案第27号 平成29年度阿久根市一般会計予算について

**問** 高齢者体験交通安全教室事業の計算根拠と委託先はどこか。

**答** 市内の2カ所の自動車教習所に委託し実施しようとするもので、計算根拠は一人当たりの単価を3000円として、30人の参加を見込んでいる。（所管課 総務課）

**問** グループタクシー利用促進事業について、本当に足が悪い人は500メートルも歩くことができない。今後制度を変える考えはないか。

**答** この事業は公共交通機関を補完するものであるため、この事業とは別に関係課とも協議していきたい。（所管課 企画調整課）

**問** 新焼却処分場施設の29年度分の市負担分は。

**答** 29年度で1億5973万2千円である。（所管課 市民環境課）

**問** イノシカ肉流通対策事業の予算が前年度より減額となった理由は。

**答** 要綱の改正を検討しており、補助対象者の変更、残渣処理費用の減額、10キロ未満のシカ、イノシシの幼獣解体処理への補助を廃止する予定である。（所管課 水産林務課）

**問** 協本の一部を準都市計画区域ではなく、都市計画区域とした経緯について教えてほしい。

**答** 準都市計画区域は、開発を抑制する考え方であり、協本地域の一部は一定の都市的な施設もあることから、市街地と一体となったまちづくりを進めるため都市計画区域とした。（所管課 都市建設課）

**問** B & G プール一般開放監視業務の委託先はどのような業者を想定しているか。

**答** 公募による入札を予定しており、警備業者を想定している。  
(所管課 スポーツ推進課)



**議案第28号** 平成29年度阿久根市国民健康保険特別会計予算について

**問** 市が抱える国民健康保険の問題点、またそれに対する対応策は。

**答** 一般会計からの繰り出しも多く、保険税の引き上げも検討しているかなければならないと考える。  
(所管課 健康増進課)

### その他の審査議案

- 議案第29号 平成29年度阿久根市簡易水道特別会計予算
- 議案第30号 平成29年度阿久根市交通災害共済特別会計予算
- 議案第31号 平成29年度阿久根市介護保険特別会計予算
- 議案第32号 平成29年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第33号 平成29年度阿久根市水道事業会計特別会計予算

## ○産業厚生委員会

**議案第25号** 阿久根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**問** 地域密着型サービスの事業に該当するのは市内のどのような施設か。

**答** 市内で該当する施設は、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護のサービスを行っている施設である。

**問** ほかに通所介護サービスを行っている施設があると思うが。

**答** 今回の地域密着型に該当するのは、定員18名以下の施設である。

**問** 要介護度別の施設利用についてはどうなっているか。

**答** 要介護の方は全て利用できるが、特別養護老人ホームについては、要介護3以上の方でないと利用できない。  
(所管課 健康増進課)

## ○総務文教委員会

**議案第15号** 阿久根市課設置条例の一部を改正する条例の制定について  
市の機構を改める目的は何か。

**答** 介護保険法の改正に合わせて、高齢者等に関連する業務を一元化し、効率的で効果的な事務執行を確保しようとするものである。  
(所管課 総務課)

**議案第16号** 阿久根市個人番号の利用に関する条例及び阿久根市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

**問** この制度によって行政手続の利便性や迅速化が図られると思うが。

**答** マイナンバーを介して税情報等が確認できるため、証明書の添付や前住所等への照会事務の必要がなくなり、事務処理だけでなく申請者にとっても利便性の向上につながるかと考える。  
(所管課 総務課)



**議案第18号** 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
これまで他市の市長等の給与の

額と比較したことがあるか。  
**答** 特別職報酬等審議会の中で県下19市の状況も示した上で審議している。  
(所管課 総務課)

**議案第23号** 阿久根市交通災害共済条例及び阿久根市交通災害基金条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 傷害見舞金通院の判断基準について、もう少し細やかなものをつくらべきだと思うが。

**答** 現在、整骨院等への通院も対象としており、本人の治癒の状況を判断することは非常に難しいが、認定については厳格にやっていく必要がある。  
(所管課 総務課)

**平成28年陳情第3号** 鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めよう要請する意見書の採択を求める陳情書

**意見** 各電力会社も免震から耐震に変更している状況で、川内原発の変更も規制委員会が了承しており、この件は不採択とすべきだと思う。

**意見** 建築の見識は持っていないが、免震と耐震を考えたときに、やはり免震でなければならないと思う。



薩摩川内市にある川内原子力発電所

陳情第1号 原発から30キロ圏内の地域住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情書

**問** 配布についての市の対応、考え方を教えてほしい。

**答** 市で安定ヨウ素剤は備蓄しているが、県の所有物であり、原則、県の指導のもと配布することになっている。

**問** 何人分用意しているのか。

**答** 本市で備蓄している分は、丸葉が3歳以上の住民1回分と、防災対策要員の3回分で4万9000錠、ゼリー菓が3歳児未満の乳幼児用で760包である。

(所管課 健康増進課)

**意見** 川内原発が稼働している以上、こういう陳情書は権利であり、採択して意見書を提出すべきだと思う。

### その他の審査議案等

○議案第17号 阿久根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び阿久根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第19号 一般職に属する職員の給与に関する条例の制定について

○議案第20号 阿久根市有施設整備基金条例及び阿久根市地域振興基金条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第22号 阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について

○平成28年陳情第4号 九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情書

○平成28年意見書第1号 九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早期に建設することを求める意見書

### 竹原信一議員に対する懲罰の件についての懲罰特別委員長報告

平成28年12月7日の市議会定例会の一般質問での竹原信一議員の発言の内容が、市議会議員として不適切な内容で、地方自治法の規定に抵触し、阿久根市議会の信用を失墜させたとして、同議員に対する懲罰を求める動議が提出されたため、特別委員会を設置して審査を行った結果、戒告の懲罰とすることに決しました。

竹原信一議員の懲罰に関する特別委員会の審査を同年12月20日、平成29年2月13日に行いました。

まず、発言内容が懲罰に該当するかどうかの審査に入り、委員の主な意見として、

・事実と根拠を示さない論評、誹謗中傷を含む不適切な発言と判断した。懲罰に該当する。

・言論の自由はあるが、発言内容は個人の名前を出したり、根拠のない発言である。発言中、議長は取り消すよう求めたが、全く取り消さない状況であった。根拠のない内容で団体の名を出して、堂々と議場の場で事件のことを発言しており、懲罰に値する。

・議場の場で、記録にない、根拠に乏しい内容を、大学教授の実名を挙げて具体的に発言した内容や、阿久根で起こった暴力事件に関し、特定の団体にとって、著しく名誉を棄損する内容である。泥棒をしても警察は逮捕しない。取り調べもしない。これは政治家や警察に對する侮辱だと思う。市民に大きな誤解を与えることでもあり、

懲罰に値する。

・議場の場で自分の考えを発言している。本人の根拠で発言していると思うが、裁判みたいに根拠を出せと言う時には出せないかもしれない。あの程度の発言では、お互いに公の立場の人であり、懲罰に値しない。などの発言があり、懲罰に値するなどの委員6名、該当しないとした委員が1名であり、賛成多数により懲罰に該当するものと決しました。

次に、懲罰の種類についての主な意見について

・一個人の名前を出して発言された件、特定の団体の名誉に関する件など陳謝が相当。

・ある特定の団体を暴力事件に関与しているとの発言は、許すべきでないと思う。陳謝との思いもあるが、議長から強く言ってもらった戒告でよい。

・今までの発言内容と同等と思うので戒告である。

・などの意見があり、戒告との委員6名、陳謝との委員1名であり、採決の結果、本特別委員会は戒告の懲罰と決定しました。

## 平成29年第1回臨時会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第1号	阿久根市民交流センター建設工事請負契約の締結について	可決（多数）
議案第2号	阿久根市民交流センター舞台設備工事請負契約の締結について	可決（多数）
議案第3号	寺山住宅6号棟建築工事請負変更契約の締結について	可決（全員）

### 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）													議決結果	討 論		
	白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	竹原信一	飯屋園一徳	竹原恵美	野畑直	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	濱之上大成			山田勝	岩崎健二
阿久根市民交流センター建設工事請負契約の締結について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	欠	◇	-	可決 反対：1 賛成：2
阿久根市民交流センター舞台設備工事請負契約の締結について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	欠	◇	-	可決 反対：1 賛成：-

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

（表の見方）◇は賛成、◆は反対、欠は欠席

### 討 論

今臨時会で行われた議案に対する  
討論の内容は次のとおりです。

**議案第1号 阿久根市民交流センター  
建設工事請負契約の締結について**

**反対** 身の丈を越えたものを作ってはならない。本来、すべて市民の財産となるような仕事の進め方をしなければならぬ。阿久根市のやり方はでたらめ。2億円もの舞台装置は使いこなせず技術無しに使えば危険だ。大変なものが残ることになる。

**賛成** 落札した地元業者3社のジョイントベンチャーは、このような施設建設の経験はないが、センターは難度の高い工事であることを理解して仮契約を結んでいる。この場にいる誰もこのような工事の経験はなく、何の保障もない。最良の選択がされることを期待して賛成する。

**賛成** 市民交流センターは阿久根市民が長年待ち続けたものであり、これまで議会でも様々な議論を行い、要望も行ってきた。請負業者、設計業者、行政、議会も一丸となって進め、市民のレガシーとなるべきものができることを期待して賛成する。

**議案第2号 阿久根市民交流センター舞台設備工事請負契約の締結について**

**反対** 特殊な設備でもないのに随意契約になったことに問題があると感じる。今後の修理などもこの業者でないとできない状況を懸念する。市は発注者の理解が足りず確認さえ出来ていない。

**議案第3号 寺山住宅6号棟建築工事請負変更契約の締結について**

**賛成** 仕事は十分な準備と検査をして進めないと受注者が困る。工期が遅れると赤字にもなる。市役所は時間に対する感覚が無神経である。相手の立場になって仕事をしないと駄目。もっと真面目にやってくれ。土の中の構造も記録に残して、使える状況をつくっておかないといけない。



建設中の寺山住宅6号棟

## 平成29年第1回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第4号	平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第4号）	可 決（多数）
議案第5号	平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決（全員）
議案第6号	平成28年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員）
議案第7号	平成28年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員）
議案第8号	平成28年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決（全員）
議案第9号	平成28年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決（全員）
議案第10号	平成28年度阿久根市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決（全員）
議案第11号	公平委員会の委員の選任について	同 意（多数）
議案第12号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同 意（多数）
議案第13号	市道路線の認定について	可 決（全員）
議案第14号	市道路線の認定について	可 決（全員）
議案第15号	阿久根市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多数）
議案第16号	阿久根市個人番号の利用に関する条例及び阿久根市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第17号	阿久根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び阿久根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多数）
議案第18号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第19号	一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第20号	阿久根市有施設整備基金条例及び阿久根市地域振興基金条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第21号	阿久根市国民体育大会運営等基金条例の制定について	可 決（全員）
議案第22号	阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第23号	阿久根市交通災害共済条例及び阿久根市交通災害共済基金条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
議案第24号	阿久根市視聴覚ライブラリー条例の制定について	可 決（全員）
議案第25号	阿久根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可 決（全員）
議案第26号	阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（多数）
議案第27号	平成29年度阿久根市一般会計予算	可 決（多数）
議案第28号	平成29年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	可 決（全員）
議案第29号	平成29年度阿久根市簡易水道特別会計予算	可 決（全員）
議案第30号	平成29年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	可 決（全員）
議案第31号	平成29年度阿久根市介護保険特別会計予算	可 決（全員）
議案第32号	平成29年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	可 決（全員）
議案第33号	平成29年度阿久根市水道事業会計予算	可 決（全員）
議案第34号	副市長の選任について	同 意（多数）
議案第35号	阿久根市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決（全員）
平成28年陳情第3号	鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の採択を求める陳情	不採択（少数）
平成28年陳情第4号	九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情書	不採択（少数）

番 号	内 容	結 果
平成 28 年 意見書第 1 号	九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早急に建設することを求める 意見書	否 決(少数)
陳 情 第 1 号	原発から30キロ圏内の地域住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前 配布計画を求める陳情書	趣旨採択(多数)
意見書第 1 号	原子力発電所から30キロ圏内の住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への 事前配布計画を求める意見書	可 決(全員)
	竹原信一議員に対する懲罰の件	戒 告(多数)

※多数－賛成多数、少数－賛成少数

## 平成29年第 1 回定例会 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）														議 決 結 果	討 論		
	白石 純一	渡辺 久治	濱田 洋一	西田 数市	竹原 信一	仮屋 園一徳	竹原 恵美	野畑 直	中面 幸人	大田 重男	濱崎 國治	牟田 学	濱之上 大成	山田 勝			岩崎 健二	木下 孝行
平成28年度阿久根市一般会計補正 予算（第 4 号）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：— 賛成：—
阿久根市課設置条例の一部を改正 する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
阿久根市職員の勤務時間、休暇等 に関する条例及び阿久根市職員の 育児休業等に関する条例の一部を 改正する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：1
阿久根市営住宅条例の一部を改正 する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
平成29年度阿久根市一般会計予算	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
鹿児島県知事に対し、九州電力に 川内原発の免震重要棟の早期建設 を求めるよう要請する意見書の採 択を求める陳情	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	—	不採択	反対：— 賛成：1
九州電力に対し、川内原発の免震 重要棟の早期建設を求める意見書 の採択を求める陳情書	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	—	不採択	反対：— 賛成：1
九州電力川内原子力発電所に免震 重要棟を早急に建設することを求 める意見書	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	—	否決	反対：— 賛成：2
原発から30キロ圏内の地域住民に 対し、安定ヨウ素剤の希望者への 事前配布計画を求める陳情書 （※ 1）	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	—	趣旨 採択	反対：— 賛成：1
竹原信一議員に対する懲罰の件 （※ 2）	◇	◇	◇	◇	—	◇	—	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	—	戒告 の 懲罰	反対：— 賛成：—

※ 1 趣旨採択とすることについての賛否内容です。

※ 2 懲罰に関する件については本人及び親族である議員は議事に参与できず表決権はありません。

○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。また、議案第 11 号・12 号・34 号は無記名投票による表決のため、議員ごとの賛否は不明です。（表の見方）◇は賛成、◆は反対

## 討論

各議案に対する討論のあった主な内容は以下のとおりです。

### 課設置条例の一部改正(議案第1号)

**反対** 課を増やせば窓口が増えて利便性が悪くなる。課長も増えて今以上に市長の管理が効かなくなるし、人件費も増えてしまう。

### 職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正(議案第17号)

**反対** 一般市民に比べて職員はたいへん恵まれている。条例改正でそれが加速する上に、職員を増やそうというモチベーションが働く。市民のためにならない。

**賛成** 「市の顔」となる臨時職員の採用のため、その処遇改善にも着手することを要望する。

### 市長等の給与、職員等の給与条例の一部改正(議案第18号・第19号)

**賛成** 実際には市長も職員も削減しない。職員は上げる部分さえある。この議案は削減に見せかけるアリバイ作りにすぎない。それでも賛成しなければ上がってしまう。仕方がないので賛成する。

**賛成** 市長の報酬、手当、退職金を合計すると年単位1554万円にな

る。「会合その他で金が残らない」という市長の認識に疑問を覚える。職員給与については削減の成果を認める。

### 平成29年度一般会計予算(議案第27号)

**反対** 職員は施設の状況把握ができていない。課長も分かっている。市長は自分が分かっているという事さえわかっていない。致命的だ。議会も市民に説明ができない。

**賛成** グループタクシーと乗合タクシーについての年度内見直しと、不適切である卒業祝い金を他の事業へ向けることを要望する。

### 平成29年度国民健康保険特別会計(議案第28号)

**賛成** 保険料の引き上げの検討と、18歳までの子ども医療費助成の検討を始めてほしい。大川診療所はその存在意義を考え、運営委員会において将来の検討をすべきである。

### 副市長の選任(議案第34号)

**反対** 「国にお願い事をするため」と総務省に副市長派遣をお願いするなど自治の放棄だ。その性根がいやらしい。

免震重要棟建設要請の意見書採択を求める陳情(28年陳情第3号)

**賛成** 九電は免震棟計画撤回時の説明も阿久根市議会の調査時の回答も不適切であった。

**賛成** 福島第一原発に免震棟があったからこそ最悪のシナリオから救われた。教訓を生かすべきだ。

### 安定ヨウ素剤の事前配布計画を求める陳情(陳情第1号)

**賛成** 避難時に被爆する危険が高く、災害が起こってからからのヨウ素剤配布では間に合わない。市民の安心と事故時の作業の円滑化につながる。

### ヨウ素剤の事前配布計画を求める意見書(意見書第1号)

**賛成** 意見書は阿久根市独自のものではなく他自治体のコピーにすぎず、文章もおかしい。非常に格好悪くて情けないがヨウ素剤配布は必要なので賛成してほしい。



昨年行った議会による川内原子力発電所の視察状況

## 陳情・意見書

平成28年陳情第3号 鹿児島県知事に対し、九州電力に川内原発の免震重要棟の早期建設を求めるよう要請する意見書の採択を求める陳情

**陳情者** 川内原発30キロ圏住民ネットワーク

**結果** 賛成少数で不採択

平成28年陳情第4号 九州電力に対し、川内原発の免震重要棟の早期建設を求める意見書の採択を求める陳情書

**陳情者** 川内原発30キロ圏住民ネットワーク

**結果** 賛成少数で不採択

平成28年意見書第1号 九州電力川内原子力発電所に免震重要棟を早急に建設することを求める意見書

**提出者** 竹原恵美議員・渡辺久治議員

**結果** 賛成少数で否決

陳情第1号 原発から30キロ圏内の地域住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情書

**陳情者** 川内原発30キロ圏住民ネットワーク

**陳情内容** 川内市では原発から5キ

口圏外については、甲状腺がんの発生を防ぐための安定ヨウ素剤を、事故発生後に配布するとしているが、道路が寸断された熊本地震を考えると、時間的余裕に不安がある。このため鹿児島県知事に対し、事前配布計画をつくり、原発から30キロまでの地域住民に対し、安定ヨウ素剤の事前配布を希望する者への配布を行うことを趣旨とする意見書の提出を求める。

**結果** 賛成多数で趣旨採択

**意見書第1号** 原子力発電所から30キロ圏内の住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める意見書

**提出者** 阿久根市議会 総務文教委員会委員長 大田重男

**意見書内容** 鹿児島県知事に対し、次の事項について特段の配慮を求めるものである。

1. 鹿児島県が設置した「原子力安全・避難計画等防災専門委員会」において、安定ヨウ素剤の事前配布について協議すること。

2. 安定ヨウ素剤の事前配布計画を策定し、原子力発電所から30キロまでの住民に対して、希望する住民への安定ヨウ素剤の事前配布を行うこと。

**結果** 全会一致で可決し、鹿児島県知事に送付。

## 原子力発電所から30キロ圏内の住民に対し、安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める意見書

平成23年に発生した福島第一原発事故では、高濃度の放射性物質が広範囲に拡散し、周辺地域では避難生活を余儀なくされている。このような状況の中で、安定ヨウ素剤の備蓄がありながら、住民に服用のための配布が行き届いていない事例も明らかになっている。

この事態を踏まえ、国は「原子力災害対策指針」を改正し、原子力災害が発生した場合に備え、安定ヨウ素剤の事前配布を含む予防服用体制を整備することを盛り込んだ。

万が一、原子力災害が発生し安定ヨウ素剤を服用しなければならない場合、即時に住民に対し安定ヨウ素剤を配布することは困難であり、安定ヨウ素剤を事前配布することが、市民の命を守る合理的かつ効果的な手法である。

よって、鹿児島県知事に対し、次の事項について特段の配慮を求めるものである。

### 記

- 1 鹿児島県が設置した「原子力安全・避難計画等防災専門委員会」において、安定ヨウ素剤の事前配布について協議すること。
- 2 安定ヨウ素剤の事前配布計画を策定し、原子力発電所から30kmまでの住民に対して、希望する住民への安定ヨウ素剤の事前配布を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月27日

鹿児島県阿久根市議会

# 一般質問

## — 市政を問う —

平成29年第1回定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。

### 【質問者】 (質問順)

- ① 渡辺 久治 議員
- ② 濱田 洋一 議員
- ③ 牟田 学 議員
- ④ 竹原 信一 議員
- ⑤ 山田 勝 議員
- ⑥ 竹原 恵美 議員
- ⑦ 白石 純一 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報聴覚委員会が編集したものです。

### 問 寺島宗則による地域興し、展望は

### 答 できるだけ早く、旧家の整備を進めたい

**渡辺** 最近、「寺島宗則」への関心が高まっている。明治維新150周年に向けて、段階的措置を含めた、今少し踏み込んだ展望を伺いたい。

**市長** 旧家の所有者と話し、早急な取り組みが必要と感じた。補助事業等を活用するには、市の管理地であることが前提となる。家屋を含めた土地の譲渡をいただき、できるだけ早く家屋の整備を行えるよう取り組みたい。

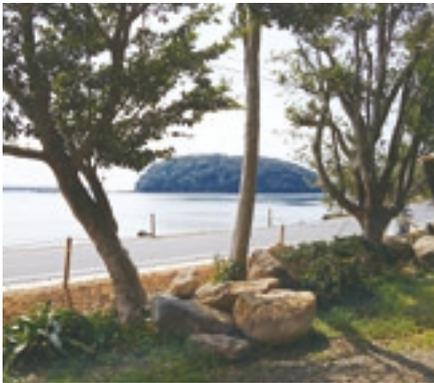
**子供達への郷土史教育の充実について**  
**渡辺** 郷土史について一定の授業時間を設け、それらの成果を定期テスト等で図ることで、子供達の郷土史への知識や認識が醸成されると考え

るが、どうか。

**教育長** 意義あることであり大事な視点でもある。今後、学習指導要領等との関連を考慮しながら、研究していきたい。

**「脱核エネルギーを推進する街」というイメージ戦略について**

**渡辺** 「脱核エネルギー」を実現しないと人類に未来はない。広島・長崎の原爆洗礼、東日本大震災による福島第一原発の事故、日本は世界の核エネルギー政策に対し、運命付けられた国である。川内原発に近い阿久根から国に提言すれば、心ある国民の支持が得られるのではないかと。  
**市長** 原発の活用は最大限の安心安全をもって取り組んでもらいたい。市としても安心安全についてしっかりと普及活動をしていきたい。



『宗則』ゆかりの『寺島』  
松木邸より臨む



渡辺 久治 議員

## 問 空き家バンクの早期設置を

### 答 設置に向け作業を急ぐ

**濱田** 市内における空き家の実態調査結果は。

**市長** 良好で活用可能な空き家が、485戸、老朽化だが活用可能な空き家が、549戸、合計1034戸の活用可能な空き家が存在する。

**濱田** 空き家バンク（空き家情報登録制度）設置の流れをどのようにイメージしているか。

**市長** 市は基本的に空き家情報の紹介や情報提供を行い、物件の賃貸売買については、宅建業者等が仲介する。その前に市は、宅建業会などと協定の締結を行う。

**濱田** 空き家バンクの要綱、制度の趣旨についてどう考えるか。

**市長** 空き家情報登録制度とは、市内にある空き家の有効活用を図るため、空き家の賃貸及び売却を希望する所有者から物件の提供を求め、登録された空き家をホームページ等で広く紹介する制度である。

### 農林水産業の振興・活性化について

**濱田** 産地保全対策として果樹農家等に対する支援策は何か。

**市長** 平成29年度新規事業として果樹苗木購入補助事業を計上した。



阿久根港に水揚げされた新鮮な魚

**濱田** 漁業後継者就業支援事業についてこれまでの経過と実績は。

**市長** 北さつま漁協と協議し、要綱に定められた諸条件を満たす3名の候補者を推薦していただいた。

**濱田** 市と北さつま漁協・漁業者・水産加工業者と連携を密にして「安心・安全な水産物」の情報発信と魚価の向上を図っていただきたい。



濱田 洋一 議員

## 問 旧国民宿舎・旧阿久根高校跡地の活用について

### 答 現在、情報収集を行っている

**牟田** 旧国民宿舎の解体の時期はいつか。

**市長** 公募の状況及び解体費用を踏まえ、事業者の選定後に新たな建物の建築の進捗に合わせて実施することを考えている。

**牟田** 公募がなければ解体はしないのか。

**市長** 解体については費用の面もあり、公募がなければ現状のまま置いておく考えである。



早期の建て替えが望まれる旧国民宿舎

**牟田** 旧阿久根高校跡地活用について市長の考えは。

**市長** 既存施設の利用可否、運営方法、財源など問題が多く現状では活用検討会議に付す具体的な計画がない。

**牟田** 国体に向けて選手育成のため鶴翔高校にボクシング部の設置はできないか。

**教育長** 鶴翔高校にボクシング部があるのが望ましいが、今のところ部の設置は難しい。県教育委員会の意見も聞いて、まずは同好会としてできないか話を進めている。

### 特定不妊治療助成事業について

**牟田** 助成事業の拡充はできないか。

**市長** 事業の拡充については、他市の状況を踏まえて検討していきたい。



牟田 学 議員

## 問 施政方針で志をミッションとしたのは誰か

答 職員訓示を述べたものである

西平市長の言葉について

**竹原** 西平市長は自分が知っているかいないかの質問に、総務課長に聞いてから「存じております。」と答える。自分が分かかっていない。施政方針では志がミッションとなっている。このくだりは誰が考えたのか。

**市長** 仕事始め式の職員訓示を述べたものである。

**竹原** 志はミッションではなくアンビションだ。施政方針の中身に戦略という言葉をつかう理由は何か。誰が誰と戦うのか。

**市長** 自分自身との戦いや課題解決のための考えを戦略と位置づけているんじゃないかと考えている。

**竹原** 市長の心の中の戦いとか知ったことではない。西平市長は言葉の勉強をしてください。

**にぎわい交流館阿久根駅と交流センターについて**

**竹原** にぎわい交流館阿久根駅は雨漏りを繰り返してきた。これは誰の責任か。

**市長** 責任の所在を特定する事は困難である。市、設計業者、事業者共に責任があると考えている。

**竹原** それを無責任という。市の無責任を市民が負わされる。



にぎわい交流館阿久根駅の雨漏り

**市長** 阿久根建設の単独での施工実績の最高が3億円程度。地元業者三者が13億3千万円の交流センターを受注するよう入札条件を緩和したのか。

**市長** 施工能力の確保と地元事業者の活用という観点から入札条件を設定した。



竹原 信一 議員

## 問 道の駅阿久根の役割と整備拡充について

答 物産館等可能性調査を参考に取組み

**山田** 道の駅阿久根は操業から20年を経過したが、現在の売り上げと従業員数は何人か。

**市長** 平成25年度が年間1億2655万円、実質収支170万円の赤字、26年度が1億2247万円、27年度が1億3616万円、6万7千円の赤字であり、従業員数13名である。

**山田** 国道3号沿線第1号の「道の駅」として平成8年にスタートし、土地とトイレ休憩所は建設省、物産館は市が建設した。市内の特産物、農水産物販売手数料で経営し利益が出ないはずはない。利益は市に還元すると議会で説明したが積立金はい

くら残っているか。

**市長** 道の駅は、美しい海のまちづくり公社が運営しており、開業から4年間は合計で556万円の委託金を市が支払っていたが現在は独自採算である。市への積立金はない。

**山田** 売り場面積が狭く、市内の業者から補充製品を置く場所が無い。売り場面積を確保してほしい。また会議所から物産館を建設してほしいと言った中、市の特産物売る場所を作ってほしいという意見も出ている。1階の食堂部分を2階に上げ、南側の駐車場に出入口を作り、入り口の通路部分を進入禁止にして売り場を広げると十分な売り場面積を確保できる。駐車場は国道の反対側の旧国道用地も含め駐車場の整備拡張はできないか。

**市長** 今年度実施した物産館等整備可能性調査を参考に真剣に取り組み



道の駅阿久根



山田 勝 議員

## 問 多良木町との災害協定の協議は進めたか

答 特段の協議は行っていない

**竹原** 災害時相互応援協定先と避難訓練を行うべきではないか。原子力災害時には乳幼児・年少者の避難の優先を検討していただきたい。

**市長** 乳幼児だけを特に配慮すると、他の配慮の必要な人の整理が課題になる。

市長給与について

**竹原** 市長給与は月額80万円（削減後72万円）、退職金は4年で1536万円である。適正と考えているか、見直しの考えはないか。

**市長** 給与はその職務と責任に応じて設定されるものであり、平成8年に改正されている。私は毎年独自の給与削減を行っている。

**竹原** 市長の生活感はいかがか。

**市長** 相応の交際費があったり、合宿にきた選手に差し入れをしたり、手元にはほとんど金が残らない状況だと思っっている。時間の制約があり、自由にいかない。前の仕事のほうが可処分所得は多かったと感じている。

16歳から18歳までの医療費助成について

**竹原** 16歳から18歳までの医療費助成を出水・長島・川内・伊佐は行っているが阿久根市は考えているか。

**市長** 行う方向で検討しているが、財源の確保が大事である。

女性の活躍について



**竹原** 女性の活躍をどのように考えているか、女性の政治参画の準備を早く進めることが必要ではないか。

**市長** 女性の力をどんどん活用したいと思っており、女性議会の開催については市議会でも議論頂きたい。



竹原 恵美 議員

## 問 旧阿久根高校跡地について

答 魅力的な活用法を検討したい

**白石** 旧阿久根高校の市検討会議は具体案なく現在未開催とのことだが、低価格帯の合宿所や中価格帯の宿泊所、高齢者住宅、福祉施設、鶴翔生実習場等、具体的に進められないか。

**市長** 魅力的な活用法を検討したい。



例用転所宿合 学校跡地の合宿所転用  
あざいカルチャー&スポーツ  
ビルレッジ（滋賀県長浜市）

**白石** 旧国民宿舎跡地の新施設は、約50年前に計画された現状の規模、ターゲット、仕様と同様で良いか。

**市長** 規模は現状同様としたい。内容は公募で民間の提案を求めたい。

**白石** 交流センターの名称、地元産

**市長** 建材の使用目標、ホール椅子仕様は。名称は、愛称および命名権も検討。建材は極力地元産を。採用する椅子は今後検討、選定したい。

**白石** 移住転入施策を練るため、転

入者へのアンケート実施は。

**市長** 四月以降アンケートで転入動機、職業等把握し施策につなげたい。

**白石** 再生エネルギービジョンは。

**市長** 間伐材、家畜糞尿、小水力など活用して、自給率を高めたい。

**白石** 昨年九電発表の要援護者避難車両の30km圏内への追加配備は。

**市長** 現在当市への配備はない。

他の質問

- ・ 16世紀阿久根砲展示の改善は
- ・ 三月十日祭りふるさと休日化は
- ・ 耐震強度不明市有建物について
- ・ 熊本地震後の診断、対策は
- ・ 観光・移住促進上も重要な分煙・禁煙について
- ・ 梶折鼻公園は架橋下の岩場まで散策路整備されるか
- ・ 国保加入者の特定健診受診率の向上施策は



白石 純一 議員

# 所管事務調査報告

## ○議会運営委員会

議会での討議及びタブレット導入について

議会運営委員会では議会基本条例の制定に伴い自由討議の在り方について、平成28年11月9日に大分県中津市及び別府市へ、翌10日には日田市へ行き調査を行いました。

また以前、当委員会で調査を行っていたタブレット端末の議会への導入・活用について再度検討するため、平成29年1月17日指宿市へ行き調査を行いました。

中津市では自由討議の運営方法・市長への政策提言までの流れについて、別府市では自由討議実施要綱制定までの経緯、日田市では政策研究会の設置の経緯及びその運営方法について調査しました。その内容については、平成29年第1回定例会で報告を行い、今後も引き続き検討していくこととしました。

タブレット端末については、指宿市議会ではすでに導入し活用していますが、導入に至るまでは特別委員会を設置し、相当な時間をかけて議論されたとのことでした。指宿市議



指宿市議会でのタブレット調査

会議員の方から「タブレット内に自分で資料などを蓄積していくことができるので、ぜひ導入して、積極的に活用してほしい」との話がありました。導入経費、維持管理費が年間200万円以上かかるとのことであり、委員会の結論としては、当市議会ではまだ議会運営委員会等で調査研究を重ね、導入に向けて検討すべきであるということでありました。

## ○産業厚生委員会

南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する調査について

産業厚生委員会では、南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する調査を行うため、愛知県刈谷市にある刈谷ハイウェイオアシスと静岡県富士市にある道の駅富士川楽座、宮崎県延岡市にある道の駅北川

はゆまを調査し、サービスエリア等の設置に至るまでの経緯や観光業への影響・効果等について調査を行いました。

その後、これまでの調査内容を踏まえ阿久根商工会議所や市執行部と意見交換会を行い、商工会議所の意見や市執行部の取り組み状況などを聴取し、会の最後にはサービスエリア等の建設に向けて、市議会、市執行部、商工会議所を初め、その他関係機関が一体となって積極的に取り組んでいくことを確認しました。



商工会議所、市執行部、委員会との意見交換会

その他の調査事項

- ・道の駅阿久根の視察及び調査
- ・株式会社海連の視察及び意見交換
- ・地域おこし協力隊員との意見交換
- ・阿久根大島・桑島周辺の現地視察及び調査
- ・北さつま漁協との意見交換会
- ・宮崎県都農町の調査（農業関係）

## ○総務文教委員会

阿久根市地域防災計画について、島原市の総務省第19回防災まちづくり大賞総務大臣賞を受賞した「島原市安中地区まちづくり推進協議会」及び、中部電力浜岡原子力発電所原発から30キロ圏内に入っている掛川市に赴き調査を行いました。

また教育行政について、不登校問題に関し、佐賀市にある特定非営利法人NPOスチューデント・サポート・フェイスへ、また学校編成に関する浜松市立庄内学園に赴き調査を行いました。



小・中一貫校である庄内学園での調査

4月	3月	2月
28日 広報広聴委員会	28日 産業厚生委員会 27日 予算委員会（補正予算） 26日 総務文教委員会 25日 産業厚生委員会 24日 総務文教委員会 23日 産業厚生委員会 22日 総務文教委員会 21日 産業厚生委員会 20日 総務文教委員会 19日 産業厚生委員会 18日 総務文教委員会 17日 産業厚生委員会 16日 総務文教委員会 15日 産業厚生委員会 14日 総務文教委員会 13日 産業厚生委員会 12日 総務文教委員会 11日 産業厚生委員会 10日 総務文教委員会 9日 産業厚生委員会 8日 総務文教委員会 7日 産業厚生委員会 6日 総務文教委員会	20日 議会運営委員会 13日 地方創生に関する調査特別委員会 10日 産業厚生委員会 6日 議会運営委員会

「お詫びと訂正」

本年2月15日発行の「阿久根市議会だより」の9ページ、竹原信一議員の一般質問中、左記につきまして誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

見出し、「いかく阿久根や毘沙門太鼓の事業監視をおこたつていないか」は、正しくは「いかく阿久根や毘沙門太鼓への補助事業の監視をおこたつていないか」でした。

また、質問中、「監査役を知っているか」は、正しくは「監査担当の人物を知っているか」であり、答弁中、「監査役は私の兄だ」は、正しくは「その人の役職は知らないが、私の兄だ」でした。

関係者の皆様にお詫び申し上げますとともに、今後十分注意して参ります。

議会広報広聴委員会



議会を傍聴しませんか。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。

平成29年第2回定例会の予定

- ・ 6月9日 本会議（提案説明・質疑）
- ・ 6月14日 本会議（一般質問）
- ・ 6月15日 本会議（一般質問）
- ・ 6月16日 委員会（議案審査等）
- ・ 6月19日 委員会（議案審査等）
- ・ 6月20日 委員会（議案審査等）
- ・ 6月26日 本会議（委員長報告・表決）

編集後記

森友学園問題では、国有地の払い下げや学校認可において、政治家の関与や、関与がなくなるとも役人の付度（そんたく）があったのではとの報道がなされました。国民の財産である国有地の処分については公平性や透明性が担保されるべきであるところ、その疑念で多くの国民が納得できない部分があったのでしよう。

市有地である旧国民宿舎跡地と、県有地であり市への払い下げが見込まれる（元々阿久根町民が寄贈した土地だった）旧阿久根高校跡地。市民の貴重な財産である両土地の活用過程においても公平性、透明性を含め市民の納得が得られるよう進め、次代の地域資源として最有効利用されることを望みます。

（委員 白石 純二）

発行責任者

議長 木下 孝行  
副委員長 濱崎 國治  
委員 渡辺 純治  
委員 白石 純一  
委員 濱田 洋一  
委員 竹原 信一  
委員 飯屋 徳一

” ” ”  
濱田 洋一  
竹原 信一  
飯屋 徳一